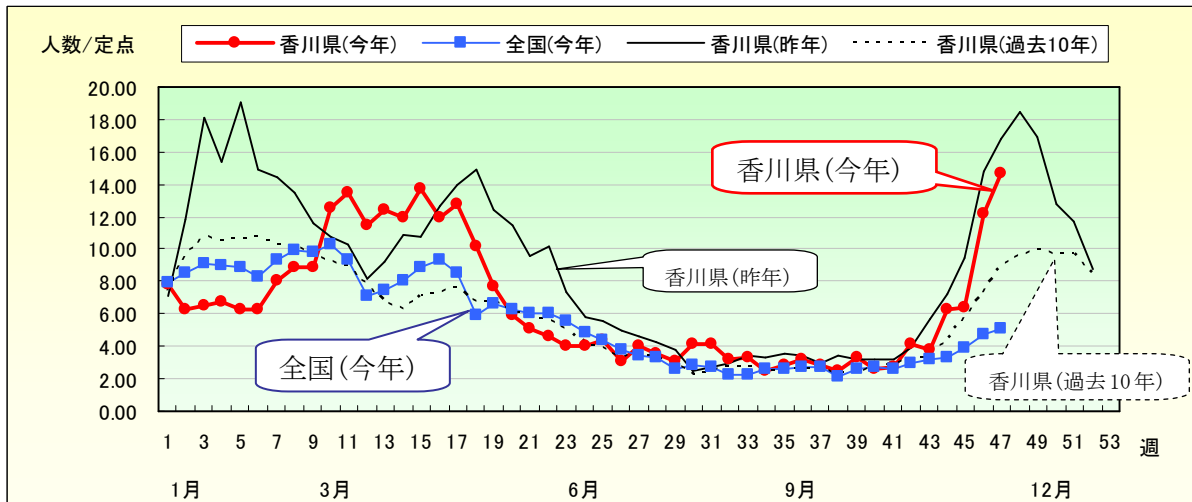


感染性胃腸炎(ノロウイルス)に気をつけましょう!

○香川県における感染性胃腸炎の発生状況 (県内小児科 30 医療機関からの報告)



- * 定点医療機関あたりの報告数は、第 44 週(10 月 31 日～11 月 6 日)から増え始め、第 47 週(11 月 21 日～27 日)では 14.63 人の報告がありました。全国の報告数は 5.09 人であり、香川県が全国1位になっています。(参考:感染性胃腸炎の警報レベル:20 人)
- * 感染性胃腸炎のうち、最も多い原因がノロウイルスによるものです。

○ノロウイルスとは？

- ・感染性胃腸炎の主な原因の一つで、感染力が非常に強く、わずかにウイルスが付着しているだけで食品、人、手袋や床、ドアノブ、便器などさまざまところから感染するおそれがあります。

○症状は？

- ・吐き気、おう吐、下痢、腹痛で、熱はそれほどでません。通常1～2日で症状はおさまり、後遺症もなく治ります。ただし、抵抗力が弱い高齢者や乳幼児などの場合、重症化したり、下痢によって脱水症状を起こすことがあります。

○感染経路は？

- ・ノロウイルスに汚染されたカキなどの二枚貝を十分加熱せずに食べたり、感染者の便やおう吐物が手につき、口に入ったり、乾燥して舞い上がったウイルスがほこりなどと一緒口に入ったりして感染することが多い。

感染性胃腸炎(ノロウイルス)の予防



★食中毒に気をつけましょう。

- 食品は、85 度以上で、1分以上加熱しましょう。
- まな板、包丁などの調理器具は、85 度以上の熱湯で1分以上加熱したり、次亜塩素酸ナトリウムで殺菌しましょう。
- 調理をする時は、手洗いをしっかりし、食品を清潔に扱きましょう。

★二次感染を予防しましょう

○手洗いをしっかりしましょう。

- ・おう吐物や便には、たくさんのノロウイルスが含まれています。ノロウイルスは、手指に付いて口に入り、感染することがありますので、こまめに手を洗うことが必要です。トイレの後や、おう吐物・便の後始末の後、食事や調理の前には、石けんと流水でていねいに洗きましょう。

○トイレの使用で気をつけること

- ・お尻を拭いた時、ノロウイルスが手につくことがあります。できるだけ他の所に触れないで、すぐに石けんで十分に手を洗いましょう。タオルの共用は避けましょう。
- ・排便後、手を洗うまでに触れる所(ドアのノブ、水洗レバーなど)や下痢便で汚染されやすいところは念のために、十分に 0.02%次亜塩素酸ナトリウム(家庭用の塩素系漂白剤)を含ませた布でふきましょう。

○おう吐物や便の処理をするときの注意点

- ・できるだけすみやかに処理しましょう。処理する時は、使い捨てゴム手袋をつけ、直接手で触れないように取り除き、ビニール袋に入れてきっちりと縛って捨てます。誤って触れたときは、すぐに石けんで手を十分洗いましょう。
- ・汚染された場所は、0.1%次亜塩素酸ナトリウム(家庭用の塩素系漂白剤)をしみこませたペーパータオル等で、約 10 分間おおった後、水拭きしてください。
- ・おう吐物や便から、空中に浮遊したノロウイルスを吸い込むことにより感染することもあります。おう吐物や便の処理をする時は、換気をよくし、マスクをしましょう。

○入浴について

- ・下痢をしている時は、シャワーのみか、お尻を石けんでよく洗い最後に入りましょう。
- ・毎日浴槽の湯を替え、使用後の浴槽を流水とお風呂用洗剤で十分洗いましょう。
- ・タオルやバスタオルの共用はやめましょう。

○下着や汚れた衣類の洗濯について

- ・汚れたら、使い捨て手袋を使用し、付着した便や吐物を取り除き、0.02%次亜塩素酸ナトリウム(家庭用の塩素系漂白剤)に30分以上つけるか、85℃で1分以上になるように熱湯消毒してから、他の家族とは別に、洗濯し、よく天日に干しましょう。

★その他、ノロウイルス感染症で注意いただきたいこと

- ノロウイルスは、症状がなくなっても1週間程度便の中に出ることもあります。また、ノロウイルスに感染しても、症状が出ないこともあります。治った人や無症状の人から、抵抗力の弱い乳幼児や高齢者が感染し、重症化することがありますので、症状がある方は、早めに医療機関を受診してください。
- 食品の取扱いや乳幼児、高齢者の介護に携わっている方は、充分注意してください。